

屋久島山岳部保全利用協議会

関係機関名	所在地	電話番号
環境省屋久島自然保護官事務所	屋久島町安房2739-343 (屋久島世界遺産センター内)	☎0997-46-2992
林野庁屋久島森林管理署	屋久島町安房166-5	☎0997-46-2111
林野庁屋久島森林生態系保全センター	屋久島町宮之浦1577-1	☎0997-42-0331
鹿児島県自然保護課・観光課	鹿児島市輪池新町10-1	☎099-286-2111
鹿児島県屋久島事務所	屋久島町安房650	☎0997-46-2211
屋久島警察署	屋久島町安房304-42	☎0997-46-2110
公益社団法人 屋久島観光協会	屋久島町小瀬田310-1	☎0997-49-4010
公益財団法人 屋久島環境文化財団	屋久島町宮之浦823-1	☎0997-42-2911
屋久島町議会	屋久島町尾之間157	☎0997-43-5900
屋久島町環境政策課・商工観光課	屋久島町宮之浦1593	☎0997-43-5900
鹿児島県レンタカー協会屋久島支部	屋久島町小瀬田815-23	☎0997-43-5000
まつばんだ交通バス株式会社	屋久島町小瀬田815-23	☎0997-43-5000
種子島・屋久島交通株式会社屋久島支社	屋久島町安房500-1	☎0997-46-2221

●利用者

●住所

●連絡先

発行／屋久島山岳部保全利用協議会
発行日／平成 30 年

● お問い合わせ ●
TEL 0997-43-5900

アイドリングは止めよう！

駐車中のアイドリングストップは誰でも参加できる地球温暖化防止対策の一つです。



屋久島山岳部保全利用協議会

世界自然遺産登録地

ようこそ 「屋久島」へ!

この冊子は、世界自然遺産登録地・屋久島を訪れる方を対象として、屋久島山岳部でのマナーとルールをまとめたものです。

屋久島は、平成5年12月、我が国初めての世界自然遺産に登録されました。

これからも屋久島の素晴らしい自然を人類共通の財産として、末永く守り伝えていくために、屋久島で守るべきマナーとルールにご理解とご協力をお願いします。

屋久島を訪れる人はすべて、「世界自然遺産の島」にふさわしい行動をとりましょう。

宮之浦岳とヤクシマシャクナゲ

Welcome To Yakushima



白谷雲水峡



ヤクシカ



ヤクシマザル

目次

1. 登山上のマナーとルール	1
2. 登山上の注意	6
3. 荒川登山口における注意事項	10
4. 縄文杉登山道(森林軌道)通行時の注意事項	11
5. 縄文杉などの保護に協力を	12
6. 喫煙ルールをお守りください	13
7. 携帯電話利用可能地域	13
8. 屋久島までの交通手段、島内所要時間	14
9. 屋久島のインフォメーション	16
10. 屋久島マップ	19

「生命の島として高く評価され、生命溢れる自然資源を観光立町の永久の資産として次世代に遺す為、その運用や観光のあり方を屋久島ルールとして確立します。」

※ 屋久島世界自然遺産登録20周年記念シンポジウム（平成25年11月23日）において全国に発信された「屋久島からのメッセージ」からの一部抜粋

1 登山上のマナーとルール

◇ 動植物を大切に使う ◇

屋久島には固有の動植物が数多く生息・生育しています。一本の植物、一匹の昆虫が屋久島の豊かな生態系を維持し、美しい自然景観を保っています。動物の捕獲や植物の採取・損傷はしないでください。

◇ ゴミを持ち帰る ◇

ゴミになるものは最初から極力減らし、登山中に発生したゴミは必ず全てお持ち帰りください。ゴミを持ち帰る袋も忘れずに準備してください。

◇ 山の水を汚さない ◇

トイレ以外の場所で用を足したり、水場で食器類を洗ったりすると、山の水が汚染されます。やむを得ない時に備えて携帯トイレを用意し、汚れた食器は全て紙で拭き取り、持ち帰ってください。

◇ 焚き火をしない ◇

焚き火は山火事の原因になります。絶対にやめてください。

◇ 山中に動物を持ち込まない ◇ (ただし、盲導犬・介助犬・聴導犬を除く)

貴重な生態系に感染症や伝染病などの悪影響を与える恐れがあります。また、他の登山者の迷惑にもなるため、ペットの同伴はやめてください。

◇ サルやシカなどの野生動物に餌を与えない ◇

人間の食べ物の味を覚えた野生動物は、生活の場所やスタイルを変え、人里に降りてきて農作物被害を引き起こします。

◇ 登山道は登りの人を優先しましょう ◇

登山は登りの人を優先して道を譲るのが原則です。ただし、場所や状況を見て適切に判断してください。

◇ 渋滞を作らない ◇

前後の登山者に気を配り、後から速いグループが来た際は、道を譲るなど渋滞を作らないようにしてください。

◇ 岩や倒木に生えた苔を踏まない ◇

湿原や苔の多い沢などの景観を守り荒廃を防ぐためにも、登山道以外に、むやみに足を踏み入れないでください。

◇ ゴムキャップの付いたストックを使う ◇ (ただし、積雪時は除く)

ストックを使用する際は、登山道の荒廃や植物の保護のためにも、先端にゴムキャップを必ず装着してください。

◇ 大きな音を出さない ◇

「熊避けの鈴」などを鳴らしたり、「ラジオ」や「音楽」などを聞いたり、音を出したりしながらの登山は他の登山者の迷惑になります。

◇ 場所を考えて食事をする ◇

食事をする際は、混雑が予想される場所や写真を撮るポイントなどは控え、周りの自然に配慮した場所で行ってください。

◇ 祠など神聖な場所を大切に使う ◇

屋久島の山岳は信仰の対象となっており、山頂付近には祠が祀られています。「お邪魔する」という気持ちを忘れないでください。

◇ アイドリングストップ ◇

登山口や駐車場などで、長時間にわたるアイドリングはやめてください。また他の登山者の迷惑にならないよう駐車してください。

◇トイレは決まった場所で◇ 携帯トイレの使用にご協力を

- 用便は、必ずトイレで行うか、または携帯トイレを使用してください。
- 用便は、できるかぎり登山前にすませてください。
- 山岳部のトイレの維持管理はとても大変です。清掃の支障やつまりの原因となる衣類、生理用品、ビニール袋など水に溶けないものは決してトイレ内に捨てないでください。トイレトペーパーや水溶性ティッシュを使用してください。
- 携帯トイレを持っていると、体調不良などいざというときでも自然環境を汚染することなくどこでも用便できます。特に縦走や宮之浦岳登山者にご協力をお願いします。
- 携帯トイレは、登山用品店、観光案内所、土産物店などで購入できます。
- 使用済みの携帯トイレは、登山口や屋久杉自然館駐車場の回収箱に捨ててください。回収箱には使用済み携帯トイレ以外のゴミなどは絶対に捨てないでください。
- 避難小屋に宿泊する方は、夜間はトイレの位置がわかりにくく危険ですので、事前にトイレの位置を確認しておいてください。
- 屋久島の山岳部では、下記の場所にトイレがあります。
(P19、20の地図参照)

荒川ルート 荒川登山口、三代杉、大株歩道入口、高塚避難小屋、新高塚避難小屋
(携帯トイレブース：小杉谷小中学校跡地[※]、翁杉[※]、大杉手前植生保護デッキ付近[※]、大杉、高塚避難小屋[※]、新高塚避難小屋)

淀川ルート ヤクスギランド入口、淀川登山口、淀川避難小屋
(携帯トイレブース：淀川避難小屋、花之江河、翁岳)

楠川・白谷ルート 白谷雲水峡入口、白谷避難小屋
(携帯トイレブース：白谷避難小屋)

その他 鹿之沢避難小屋、石塚避難小屋
(携帯トイレブース：鹿之沢避難小屋[※]、石塚避難小屋[※]、蛇紋杉)
※トイレブースの設置期間は3月から11月まで

山岳部環境保全協力金の納入をお願いいたします。

世界自然遺産として評価された屋久島の美しい自然環境と清らかな水環境を人類共通の財産として末永く受け継ぎ、登山者のみなさまに安心して安全な自然体験を提供するための協力金です。

基本額(日帰り入山の場合) 1,000円

山中で宿泊予定の入山の場合 2,000円

※登山をされない方で協力金制度にご賛同いただける方も協力金を観光協会案内所などで納入できます。

使い道

- 山岳トイレの維持管理経費
- 登山道・トロッコ道の点検及び軽微な補修費
- 山岳地域の安心安全のための諸活動にかかる経費
- 町道荒川線のマイカー規制等に係る経費
- 上記のほか、協力金の収納等、山岳部の自然環境の保全に必要な経費



(協力者証の一例)

観光事業者と連携した環境保全の取り組みとして、協力者証を町内の協力店でご提示いただくと、観光にお得な各種サービスが受けられます。サービス内容は、ホームページ(<http://yakushima-tozan.com/>)等で連絡先をご確認の上、協力店にお問い合わせください。



屋久島山岳部
環境保全協力金HP

納入方法

<淀川登山口から入山する方>

- P5に記載する取扱所で、事前に納入いただくか、淀川登山口に待機する業務員に納入してください。

<白谷雲水峡から入山する方>

- P5に記載する取扱所で、事前に納入いただくか、白谷雲水峡の入口の管理棟で納入してください。

※白谷雲水峡からウィルソン株や縄文杉などを目指す場合は、山岳部環境保全協力金の納入にご協力をお願いします。なお、白谷雲水峡(白谷管理棟～辻峠)だけを散策する場合は、森林環境整備推進協力金500円の納入にご協力をお願いします。その場合、山岳部環境保全協力金の納入は必要ありません。

<登山をされない方で協力金制度にご賛同し納入いただける方>

- 観光協会案内所(空港前・エコタウンあわほ内・屋久島環境文化村センター内)、屋久島山岳部保全利用協議会(屋久杉自然館前バス停)で納入いただけます。
- 指定口座に振り込み(金額は問いません)
※ご希望の方は、屋久島町役場環境政策課(<http://www.town.yakushima.kagoshima.jp/>)にお問い合わせください。

<荒川登山口から入山する方>

毎年3月1日から11月30日までの期間、荒川登山口に通じる町道荒川線は、許可車両以外の車両の乗り入れを規制しています。荒川登山口へは、屋久杉自然館前バス停から荒川登山バス(シャトルバス)をご利用ください。下記の取扱所で、バス券の購入に併せて山岳部環境保全協力金を納入してください。

協力金及びバス券の事前購入にご協力ください。

協力金及び荒川登山バス取扱所

取扱所	取扱時間	市外局番0997
(公社)屋久島観光協会事務局(空港前)	8:30~18:00	49-4010
安房案内所(エコタウンあわほ内)	9:00~18:00	46-2333
宮之浦案内所(屋久島環境文化村センター内)	9:00~17:00	42-1019
屋久島環境文化村センター	9:00~17:00	42-2900
屋久島山岳部保全利用協議会(屋久杉自然館前バス停)	4:00~19:00	46-3317

※上記以外にも、宿泊先などで購入できる場合もございますので、各施設に直接お問い合わせください。
※バス券の返金は観光案内所にて行います。(納入いただいた山岳部環境保全協力金は原則返金できませんのでご了承ください。)

マイカー・レンタカー・二輪車・自転車・路線バスをご利用の方

▶屋久杉自然館前バス停にて、荒川登山バスに乗り換えをお願いします。

運行区間	屋久杉自然館前バス停~荒川登山口
中学生以上	(片道券)1,690円(バス代690円+協力金1,000円*) (往復券)2,380円(バス代1,380円+協力金1,000円*) ※【協力金】日帰り入山の場合は1,000円、山中で宿泊予定の場合は2,000円。
小学生	(片道券)350円(バス代350円) (往復券)700円(バス代700円) ※協力金は必要ありません。
小学生未満	バス代は無料です。

混雑緩和及び円滑なバス運行のため、事前購入にご協力ください。都合により事前購入できなかった方は、登山バス乗車口にて待機する係員にお申し出ください。

貸切バス・タクシーをご利用の方

▶協力金は、屋久島山岳部保全利用協議会(屋久杉自然館前バス停)または荒川三叉路において業務員に納入してください。詳しくは、バス・タクシー会社またはドライバーにお問い合わせください。1,000円*
※【協力金】日帰り入山の場合は1,000円。山中で宿泊予定の場合は2,000円。

【問合せ先】屋久島山岳部保全利用協議会

TEL&FAX 0997-46-3317

http://yakushima-tozan.com/



【バス運行情報】種子島・屋久島交通(株)屋久島支社 0997-46-2221
まつばんだ交通バス(株) 0997-43-5000

2

登山上の注意

◆ 登山届はあなたの居場所を伝えます ◆

登山の際は必ず、登山届を提出しましょう。

万一、遭難した場合、登山届を提出していると、捜索がスムーズに行われ、発見される可能性が高まります。

また、自分の力量にあった登山計画を立て、体力・時間・天候により、計画の見直しが必要となった時は、計画を変更し、引き返す勇気を持ちましょう。

また、予定より下山が遅くなった場合、宿泊先へ連絡してください。



登山届入手場所及び提出機関

機関名	住所	電話番号
(公社)屋久島観光協会	屋久島町小瀬田310-1	☎0997-49-4010
屋久島警察署	屋久島町安房304-42	☎0997-46-2110
屋久島町役場宮之浦支所	屋久島町宮之浦1593	☎0997-43-5900
その他	島内の交番、空港、港、各観光案内所、船内、屋久島世界遺産センター、屋久島環境文化村センター、淀川登山口、荒川登山口、白谷雲水峡登山口、	

※上記団体のホームページなどからダウンロードできます。

◆ 登山道は事前に確認を ◆

登山道が荒れていたり、利用不能になっていることがあるので、登山の際は、状況をよく調べてください。

荒川登山口から縄文杉往復、淀川登山口から宮之浦岳往復には9~10時間程度を要します。

■ 登山道などの問い合わせ

(公社)屋久島観光協会
環境省屋久島自然保護官事務所

☎ 0997-49-4010

☎ 0997-46-2992

◇ 登山口に至る道路の通行止めについて ◇

屋久島では異常気象(連続雨量が220mm/24h以上)の場合、登山口(荒川登山口、ヤクスギランド入口、淀川登山口、白谷雲水峡入口)に至る道路の通行止めを行っていますので、登山する前には、道路通行規制情報、気象状況等に十分留意してください。

※鹿儿岛県道路通行規制情報

<https://www2.pref.kagoshima.jp/dourokisei/Index#>

◇ 十分な装備で ◇

里地は天気がよくても、山岳部の**天気は急変**するので登山用の**雨具**は必需品です。また、日帰りでも、**非常用に防寒衣**(冬は-10~-15℃に下がります。)テントやツエルトの準備もお忘れなく。

食糧(チョコレートや飴玉など)・**懐中電灯**・**地形図**・**コンパス**・**警笛**・**携帯電話**(無線機)も必需品です。

服装は、長袖・長ズボン(半ズボンはケガのもと)・登山靴(シューズ類は滑りやすい。ただし、スパイク付は木の根を傷めます。)を用意してください。

◇ 道に迷わないように気をつけましょう ◇

沢伝いに川を下ることは、滝が多くて大変危険です。絶対に沢へは降りないでください。

道に迷ったら、体力を消耗しますので、むやみに動き回らないようにしてください。また、救助用に警笛や携帯電話を持参することをお勧めします。

なお、行方不明者の多くは、道に迷ったことによる遭難者です。一部の携帯電話は、宮之浦岳や永田岳など主要な山頂や、種子島が見える場所、縄文杉への登山道(大株歩道)などの一部では使用できる場合があります。(P13)

※屋久島山岳情報及び登山届について
(鹿儿岛県警察HP)

http://www.pref.kagoshima.jp/ja10/police/shinsei/sonota/oshirase_34.html



遭難時における搜索費用は自己負担です。

◇ 登山道から外れない ◇

屋久島の山は、いったん登山道から離れると遭難する恐れがあります。なお、せまい登山道では、原則上り優先で、譲り合しましょう。

また、登山道を外れることは、貴重な植物の踏み付けなど、森林生態系へ重大な悪影響を及ぼします。

さらに登山道中は**落石・落枝の危険**も予想されますので、くれぐれも安全にはご注意ください。

◇ 事故等で救助が必要な場合は、落ち着いて対応を ◇

登山中に、急な体調不良や事故等で救助が必要となった場合は、周辺の方の協力を得て対応してください。**特に、症状の判断に迷う場合は、救急車を要請してください。**また、救急隊員が到着するまでの負傷者の状況についてメモを取り、救急隊員に引き継いでください。**山は携帯電話が通じにくいので、無線を持つガイドに協力を求めてください。**

●レスキュー要請 熊毛地区消防組合

- ・屋久島南分遣所 0997-47-2125
- ・屋久島北分遣所 0997-42-0119

※携帯電話から「局番なしの119」は、代表の消防本部が受信し、最寄りの分遣所に転送しますので、「携帯電話であることを告げる」、「転送のための空白があっても通話を切らない」ようにしてください。

レスキュー要請時には、

- 1、事故発生場所・時間
- 2、傷病者の氏名、年齢、性別、体重、血液型(場合により)
- 3、ケガの状況、状態等

を伝えるとともに、救急隊員に引き継ぐまでの間の状況の変化を報告してください。

◇ 宿泊は避難小屋で ◇

山での宿泊は、避難小屋を使用してください。

避難小屋は6か所で、いずれも無料ですが、無人小屋のため、炊事設備も電話もありません。

5月の連休や夏休み期間をはじめ、冬を除く季節は混み合います。また、あくまでも緊急時の避難小屋ですので、できるだけ多くの方が利用できるよう**譲り合っ**てください。

荒川登山口から縄文杉へ、淀川登山口から宮之浦岳への登山は、往復9～10時間で、それぞれ日帰りも可能です。特に5月の連休や7月中旬～9月末にかけては、日帰り登山をお勧めします。

【参考】縄文杉快適登山日カレンダー（環境省HP）

[<http://www.env.go.jp/park/yakushima/ywhcc/tozan/kaitekic.htm>]



🏠 避難小屋（P19、20の地図参照）

名称	収容人員	建築構造	標高 (m)
白谷小屋	40	鉄筋コンクリート	825
高塚小屋	20	鉄骨造	1,330
新高塚小屋	40	木造	1,460
鹿之沢小屋	20	石造	1,550
淀川小屋	40	木造	1,380
石塚小屋	14	ブロック造	1,600

※残飯やゴミは全て持ち帰ってください。

3 荒川登山口における注意事項

◇ 縄文杉登山は、午前7時頃までに出発を ◇

荒川登山口から縄文杉まで往復9～10時間かかります。午前5時頃から、遅くとも午前7時頃までには出発しましょう。

帰りのバス時刻に間に合わない場合は早めに引き返しましょう。

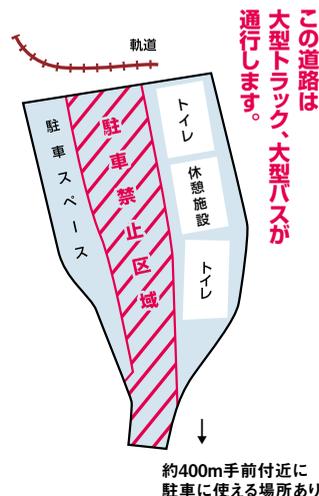
◇ 公衆電話は、ありません ◇

登山口に、公衆電話はありません。また、携帯電話も通じません。ただし、荒川登山口では、携帯電話会社（docomo、au）によって通じる場合がありますので、あらかじめご使用の携帯電話会社のホームページなどでご確認ください（登山口より4km手前の荒川分れに公衆電話があります）。

◇ 荒川登山口への乗り入れは規制されています ◇

3月1日から11月30日までの間、一般車両の乗り入れは規制されていますのでご注意ください。

また、規制期間以外に乗り入れる際も、大型トラックなどの通行の支障になることから、駐車禁止区域への駐車は絶対にしないようお願いいたします。

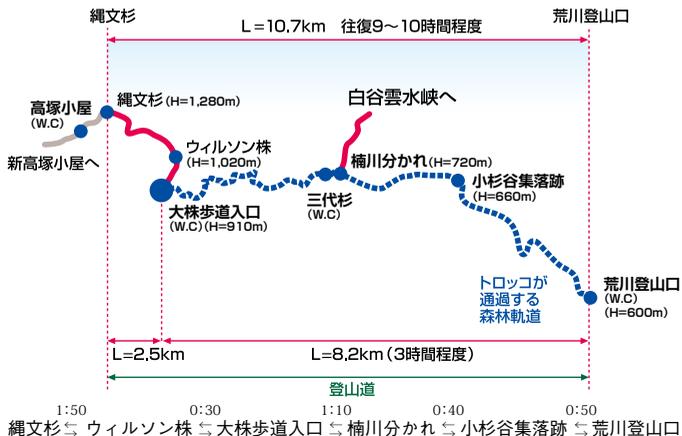


4 縄文杉登山道(森林軌道)通行時の注意事項

荒川登山口から大株歩道入口まではトロッコが通りますので、森林軌道を通行する際は下記の事項を守ってください。

- 横に並んで歩かない。(縦列で歩く。)
- 待避場所で休憩し、軌道上では休まない。
- トロッコの通行に際しては、待避場所などの安全な場所で早目に待避する。
- 途中の橋には手摺りがないので、特に風の強い日の通行に際しては十分注意する。
- 軌道(歩道)の施設に損害を与えない。
- ペースが遅い方は、渋滞を作らないためにも、速い方に道を譲りましょう。
- 森林軌道の枕木の両端部分は、滑りやすく転倒事故が多発していますのでご注意ください。

縄文杉登山道



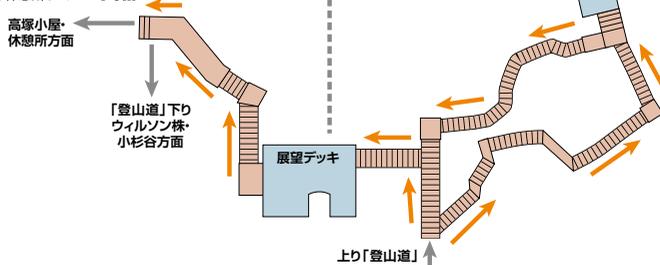
5 縄文杉などの保護に協力を

屋久島のシンボルで、樹齢数千年の縄文杉は、昭和42年に一般に紹介されて以来、多くの登山者により周囲を踏まれ、土壌が流出し根が露出したため、周囲の立入り禁止や展望デッキの設置など保護対策を行っています。

- 展望デッキの外に出ない。
- 展望デッキでのテント設営などによる宿泊は原則禁止されています。
- 展望デッキでの食事は控え、休憩所または高塚小屋を利用してください。
- トイレは荒川登山口、小杉谷山荘跡(三代杉近く)、大株歩道入口または高塚小屋で行う。
- ゴールドウィークなどは、非常に混雑するため、デッキ利用は、指導員の指示に従ってください。
- 写真撮影ポイントは譲り合って利用する。

展望デッキ利用区分

- 高塚小屋まで 140m
- 休憩所まで 70m



◇ ウィルソン株の保護に協力を! ◇

屋久杉の切り株で最大級のウィルソン株は、近年、登山者の不適切な利用により、周辺環境の悪化などが懸念されています。

ウィルソン株の保護のため、皆様のご協力をお願いします。

- 株を傷つけない。
- 株に登らない。
- 立入り禁止地域に入らない。
- 写真撮影は譲り合う。

6 喫煙ルールをお守りください

荒川登山口から高塚小屋に至る縄文杉登山道では、屋久島の大自然を満喫していただくこと、山火事防止に資することを目的に、喫煙場所を設定し、設定場所以外での喫煙をご遠慮いただいています。

<喫煙場所>

- ① 荒川登山口トイレ裏
- ② 小杉谷東屋裏奥(著名屋久杉遺伝資源保存林碑奥)
- ③ 大株歩道トイレ奥
- ④ 高塚小屋トイレ奥

なお、設定場所で喫煙される場合も、次の事項を守ってください。

- 1 携帯灰皿を持参してください。
- 2 山火事防止に努めてください。
- 3 周囲の人や自然環境に配慮してください。

7 携帯電話利用可能地域

淀川登山口をはじめ、山中のほとんどの場所で、携帯電話は通じません。

荒川登山口、縄文杉デッキ、宮之浦岳山頂、永田岳山頂、黒味岳山頂、栗生岳山頂、太忠岳山頂などで、一部の携帯電話は通じますが、むやみに使うと自然の雰囲気を楽しむ他の登山者を不快にさせますので、非常時以外は使用しないでください。

※機種や携帯電話会社によって通じない場合があります。予めご使用の電話会社のHPなどでご確認ください。

屋久島公認ガイドのご案内

山・海・川での自然体験を安全かつ、楽しくサポートしてくれる、「屋久島公認ガイド」を利用しませんか。「屋久島公認ガイド」のご予約は、下のQRコードからHPをご確認の上、電話やメールなどで直接ガイドにお申し込みください。



<http://www.yakushima-eco.com>

里めぐりのご案内

屋久島では各集落が里と呼ばれていて、現在7つの里で地元の語り部による案内を行っています。各里の歴史や文化、自然、産業などについて、実際に里を歩いて案内します。詳しくは下のQRコードから、屋久島里めぐり推進協議会のHPをご確認の上、電話やメール・FAXでお申し込みください。



<http://www.yakushima.jp>

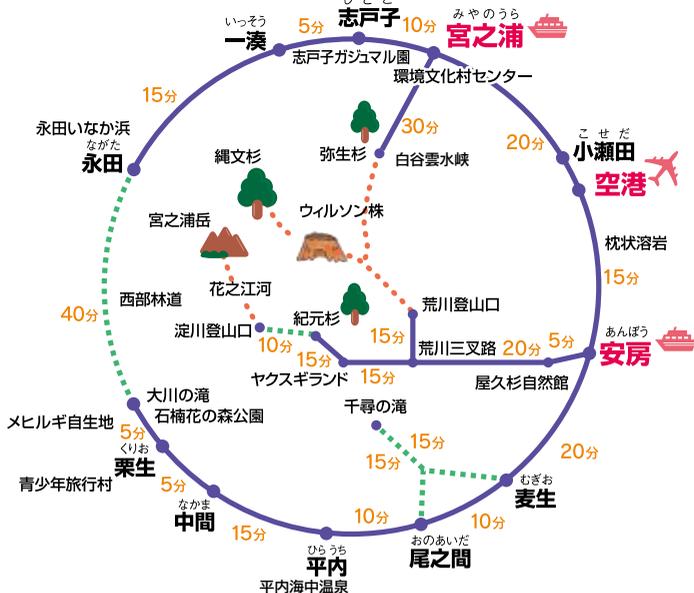
8 屋久島までの交通手段、島内所要時間



所要時間例

種類	表示	所要時間	連絡先
航空機	鹿兒島(満辺)～屋久島	35分	屋久島空港 ☎0997-42-1200
	大阪(伊丹)～屋久島	1時間35分	
	福岡～屋久島	55分	
ジェットフォイル		2～3時間 (経路によって異なる)	種子屋久高速船(株) ☎099-226-0128
フェリー	鹿兒島～宮之浦	4時間	折田汽船(株) ☎099-226-0731 鹿商海通(株) ☎099-261-7000
	鹿兒島～西之表～宮之浦	3時間40分	
	西之表～宮之浦	1時間50分	
町営フェリー	口永良部島～宮之浦	1時間40分	屋久島町役場(財産管理課) ☎0997-43-5900 (株)屋久島物流サービス ☎0997-42-3055
	島間～宮之浦	1時間05分	

◇ 島内所要時間 ◇



■ 凡例

種類



路線バス



タクシー等



徒歩

屋久島町では有料のごみ袋による分別収集を行っています。道路沿いにあるゴミ集積所（ゴミステーション）は、分別したもののしか収集しませんので、周辺の衛生保持のため、ポイ捨てなどしないようご協力ください。

9

屋久島のインフォメーション

わからないとき? / 困ったときの問い合わせ先



観光・宿泊・レンタカー・タクシー・登山や
釣具のレンタル・登山のガイド案内

機関名	お問い合わせ時間	住所	電話番号
(公社)屋久島観光協会(事務局)	年中無休 8:30~18:00	屋久島町小瀬田310-1 (屋久島空港ビル隣)	☎0997-49-4010
// (安房案内所)	年中無休 9:00~18:00	屋久島町安房410-155 (エコタウンあわほ内)	☎0997-46-2333
// (宮之浦案内所)	年中無休 9:00~17:00	屋久島町宮之浦823-1 (屋久島環境文化センター内)	☎0997-42-1019
屋久島町役場(商工観光課)	土・祝日外 8:30~17:15	屋久島町宮之浦1593	☎0997-43-5900



路線バス

機関名	お問い合わせ時間	住所	電話番号
種子島・屋久島交通(株)	年中無休 8:30~17:00	屋久島町安房87	☎0997-46-2221
まつばんだ交通バス(株)	年中無休 9:00~17:00	屋久島町小瀬田815-23	☎0997-43-5000



タクシー

機関名	住所	電話番号
安房タクシー	屋久島町安房165-1	☎0997-46-2311
まつばんだ交通タクシー	屋久島町小瀬田815-23	☎0997-43-5555
屋久島交通タクシー	屋久島町宮之浦305-5	☎0997-42-0611



医療機関

機関名	住所	電話番号
和田医院	屋久島町宮之浦217	☎0997-42-1322
屋久島徳洲会病院	屋久島町宮之浦2467-13	☎0997-42-2200
小瀬田診療所	屋久島町小瀬田849-18	☎0997-43-5100
門野医院	屋久島町一湊348-1	☎0997-44-2303
町立永田診療所	屋久島町永田1247-1	☎0997-45-2273
仲医院	屋久島町安房410-158	☎0997-46-2131
屋久島尾之間診療所	屋久島町尾之間136-6	☎0997-47-3277
町立栗生診療所	屋久島町栗生1743	☎0997-48-2103

屋久島の環境文化学習スポット (P19、P20の地図参照)

◆屋久島世界遺産センター ☎0997-46-2992

安房にある環境省の施設。世界自然遺産と屋久島国立公園についての紹介をはじめ、屋久島の自然の成り立ちから環境保全の取り組み、登山の際のルールまで幅広く解説しています。平成26年5月にリニューアルオープン。

■開館時間/午前9時～午後5時(入館は4時半まで) ■休館日/12月～2月の毎週土曜日、年末年始12/28～1/3 ■入館料/無料

◆屋久島環境文化村センター ☎0997-42-2900

宮之浦港の近くにある屋久島をまるごと知る・学べる施設。大型映像とパネル模型などを駆使した常設展示により屋久島の自然・生活・文化をわかりやすく紹介しています。

■開館時間/午前9時～午後5時 ■観覧料/小・中学生 260円(団体20名以上210円)
■休館日/毎週第3火曜日ただし、その日が祝日の場合は翌日 高・大学生 360円(団体20名以上290円)
(4/29～5/5・7/1～10/31は休館日なし) 大 大人 520円(団体20名以上420円)
年末年始12/28～1/1 展示ホール及び大型映像の観覧には観覧料が必要です。

◆屋久島環境文化研修センター ☎0997-46-2900

屋久杉自然館に隣接した丘陵にあり、屋久島をフィールドとした自然の大切さや自然と人のかかわりを学ぶ環境学習の研修施設。セミナーや野外観察会など多様な環境学習プログラムを提供しています。

■開館時間/午前9時～午後5時 ■休館日/毎週月曜日ただし、月曜日が祝日の場合は翌日
(4/29～5/5・7/20～8/31は除く)年末年始12/28～1/3

◆屋久島町立屋久杉自然館 ☎0997-46-3113

安房にある屋久杉たのしみ博物館。本物1660歳の秘密・切り株の謎・2mの巨大チェーンソー・挑戦パソコン屋久島クイズ・ウィルソン株の大杉 CG再現。実物や模型、電子装備を駆使して屋久杉のすべてを紹介しています。

■開館時間/午前9時～午後5時 ■休館日/毎月第1火曜日、年末年始12/29～1/1
■入館料/小・中学生300円(団体20名以上200円) 高・大学生400円(団体20名以上300円) 大人600円(団体20名以上500円)

◆屋久島森林生態系保全センター ☎0997-42-0331

屋久島の森林・林業に関するパネルや植物などの写真を紹介しています。

■開館時間/午前9時～午後5時 ■休館日/毎週土曜日・祝日、年末年始 ■入館料/無料

◆ヤクスギランド ☎0997-46-4015 (管理棟) ☎0997-42-3508

(屋久島レクリエーションの森保護管理協議会)

標高1,000m～1,300mに広がる自然休養林。ヤクスギと土埋木が自然のまま残されており、ヤクスギと人との共生、森林再生のメカニズムが学べる素晴らしい森です。30分～150分までの4つの鑑賞コースがあります。

ヤクスギランドを利用される皆さんに協力金(高校生以上500円)、ヤクスギランドと白雲水峡の両方をご利用の方は、先に入林した方で、もう一方の協力金を割引する「200円割引券」が付きまます。

◆白雲水峡 ☎090-5384-6261 (管理棟) ☎0997-42-3508

(屋久島レクリエーションの森保護管理協議会)

標高600m～1,050mに広がる自然休養林。林内は珍しいシダ・苔類で緑に覆われており、苔むす森の幽玄な世界に引き入れてくれます。1時間、3時間、4時間の3つの鑑賞コースがあります。

白雲水峡を利用される皆さんに協力金(高校生以上500円)、ヤクスギランドと白雲水峡の両方をご利用の方は、先に入林した方で、もう一方の協力金を割引する「200円割引券」が付きまます。

◆屋久島町歴史民俗資料館 ☎0997-43-5900

(屋久島町役場)

屋久島町役場宮之浦支所前にある資料館。縄文時代から現代までの屋久島の歴史と人々の生活史を実物展示を交え紹介しています。

■開館時間/午前9時～午後5時 ■休館日/毎週月曜日、年末年始12/28～1/4
■入館料/小・中・高校生50円(団体20名以上30円) 大人100円(団体20名以上70円)

◆屋久島うみがめ館 ☎0997-49-6550

人々の生活とウミガメとのかかわりやウミガメの生態と環境についての解説や展示をしています。産卵時期には夜間の生態調査を実施するとともに、見学者にはウミガメについての説明会を行っています。

■開館時間/午前9時～午後5時 ■休館日/火曜日 ■入館料/中学生以上300円 小学生100円
※開館時間、休館日は季節により変更がありますので、館に確認してください。

◆屋久島総合自然公園 ☎0997-42-2727

ヤクスギマシヤクナゲなど屋久島を代表する植物や、種から育てた植物を紹介する野生植物園と、宮之浦の前岳でもあるナタオレ岳の景観を活かした公園があります。温泉施設「ゆのこのゆ」もあります。(要予約)

野生植物園: ■開園時間/午前8時30分～午後5時 ■休園日/12/28～1/4
■入園料/大人300円(団体15名以上225円) 小人100円(団体15名以上75円)
植物の販売も行っています。
公園: 休憩舎・野外ステージの利用は事前に申し込みが必要です。その他の利用は無料です。
※申込先/屋久島町役場環境増進課 ☎0997-42-0100
ゆのこのゆ: ☎0997-42-0305(事前に予約が必要です。)
料金 大人(中学生以上)400円、小人150円

屋久島ファンクラブ 会員募集

財団では、屋久島ファンクラブ会員を募集いたしております。素敵な特典のあるファンクラブへ、あなたもお入りになりませんか。会費は、1年間に2,000円です。会費を納めてくださった日から会員となります。

【会員の特典】 ■「屋久島通信」のお届け ■施設利用の特別割引 ■財団刊行物の贈呈など

お問い
合わせは

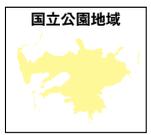
公益財団法人 屋久島環境文化財団
(屋久島環境文化村センター内)
〒891-4205 屋久島町宮之浦823-1 ☎0997-42-2911
<http://www.yakushima.or.jp>



- 登山歩道
- 滝
- ウミガメ産卵地
- 避難小屋
- 温泉・公衆浴場
- 主要車道
- トイレ
- AED設置場所
- 携帯トイレ建屋ブース
- 携帯トイレテントブース
(3月～11月のみ設置)



屋久島は、九州最高峰(標高1,936m)の宮之浦岳をはじめとして、険しい山々が40数座連なる周囲約130kmのほぼ円形の島です。山岳部で年間1万ミリといわれる多量の降雨は、無数の滝や清らかな溪流を形成し、河口まで一気に駆けくだります。また、縄文杉など樹齢数千年の巨杉が生育する森林や、亜熱帯から冷温帯までの植物の垂直分布が見られるこの島は、野生生物の宝庫になっています。



※AEDはその港湾・空港・公共機関等にも備えております。